



共産党の躍進が共闘を前進

国が「資質・能力」定める＝国際的な利潤追求のための人材育成

「改訂学習指導要領と子どもたち」 (植田健男名古屋大学教授)

このほど文部科学省は、小中学校で教える内容を定めた学習指導要領と幼稚園の教育要領の改訂案を公表しました。

グローバル化や人工知能(AI)の発達などへの対応から授業のあり方を見直し、小学3年から英語を始めるために授業時間も増やすなど、前回の08年改訂に比べて分量は約1.5倍になりました。

このような流れの中で、現場の教職員からは、「今でさえ授業時数が足りないというのに、どうやって新たな時間を捻出するのか？」保護者から、

「英語塾に通わせたいのだからか?」... 等々、たくさん疑問がだされています。そこで今回、学校や保護者が、改訂学習指導要領とどう向き合っていけばよいのか考える場を持つという主旨で、名古屋大学教育学部教授 植田健男氏を講師に迎え、「子どもと教育・文化 道民の会」

「北海道子どもセンター」 「さっぽろ子育てネットワーク」 「道民教」 共催の講演会が4月23日札幌市で開催されました。

この講演に先立ち、保育園・小学校・中学校・高校で働く教職員から、今の教育現場の実態、そして、お母さんの代表から、今の保護者の教育についてどんな意識を持っているのか等



教育現場や保護者からの報告

講演に先立ち、保育園・小学校・中学校・高校で働く教職員から、今の教育現場の実態、そして、お母さんの代表から、今の保護者の教育についてどんな意識を持っているのか等

「北海道子どもセンター」 「さっぽろ子育てネットワーク」 「道民教」 共催の講演会が4月23日札幌市で開催されました。

「英語塾に通わせたいのだからか?」... 等々、たくさん疑問がだされています。そこで今回、学校や保護者が、改訂学習指導要領とどう向き合っていけばよいのか考える場を持つという主旨で、名古屋大学教育学部教授 植田健男氏を講師に迎え、「子どもと教育・文化 道民の会」

「北海道子どもセンター」 「さっぽろ子育てネットワーク」 「道民教」 共催の講演会が4月23日札幌市で開催されました。

この講演に先立ち、保育園・小学校・中学校・高校で働く教職員から、今の教育現場の実態、そして、お母さんの代表から、今の保護者の教育についてどんな意識を持っているのか等

「北海道子どもセンター」 「さっぽろ子育てネットワーク」 「道民教」 共催の講演会が4月23日札幌市で開催されました。

この講演に先立ち、保育園・小学校・中学校・高校で働く教職員から、今の教育現場の実態、そして、お母さんの代表から、今の保護者の教育についてどんな意識を持っているのか等



日本共産党 春の演説会

4月23日札幌ニトリ文化ホールで日本共産党小池書記局長を迎え演説会が開催され、夕張からは乗用車2台に分乗して、10名が参加しました。

戦争法反対共謀罪阻止で共同する市民などで会場いっぱいになり、4階までびっしりでした。

日本共産党と共同すすめる市民と立憲野党の共同を求める北海道3区市民の会の由比夕優さんのあいさつがあり、「現在150名をこえる会になりました」と報告しました。

次期衆院選の比例代表・小選挙区候補者の紹介があり、候補者を代表して畠山和也衆議院議員の決意を表明するなど、会場は熱気にあふれました。

そのあと壇上にあがった書記局長の小池晃参議院議員は、「まず、野党共闘が北海道からはじまった」ことを紹介、「この1年で野党共闘が大きく前進した」と指摘しました。

続いて、最近の安倍首相の国民と日本国憲法を無視した、安倍自公内閣の政治姿勢について、「日本のアメリカに対する態度、森友学園問題や、多数の大臣の暴言」などを指摘、「究極のモラルハザード(倫理喪失)政権だ」と批判しました。そして「日本共産党と野党市民の共闘で、安倍政権を退陣させ野党連合政権をつくらう」とよびかけました。

教育は、人格の形成を目的とした「人間教育」の視点で取り組まれた。

「(2) 今後の朝鮮戦争を境に 日本は、産業構造を農業から工業へと転換し、富を得る方向へと進んだ。その体制を支える人づくりを教育が担われた。

つまり、学習指導要領の拘束力強化し、全国統一の学習内容をふりに使い、だが、これからの経済界を担う少数のエリートで、

「(1) 日本の敗戦で 日本軍国主義の精神的支柱が学校教育によって醸成された反省に立ち、戦後まもなくの

(2) だが工業生産を担う
大多数の労働者かを選
別した。(この段階では、
まだ、国民全体が中流
意識を持てる程度の待
遇が労働者に保障され
ていた。)

(3) 東西の壁が崩壊し、グローバル化による大競争時代に突入

中国や東南アジア等の新興国の工業生産能力に太刀打ちできなくなつた財界は、知的基盤型の産業へのシフトを図り、高度な科学技術の創造を基盤とした経済成長を目指す方向に進んでいる。

そこでは、極少数の超エリートが存在だけが必要とされ、かつての生産労働を支えた労働力を不必要とした。そして、超エリート以外の一般国民の教育には、お金をかけない方向が打ち出されている。

どんな人間をつくらうとしているのか？... これまでの学習指導要領が担ってきた教える内容の統一に加え、その内容を教える方法までも細かく指示し、さらには、その結果として得られる子どもの資質や能力までも規定している。つまり、目の前の子どもの実態に合わせた教師の創造的教育活動も子ども人間としての人格さえも否定する中味となつている。』

★本来教育とは

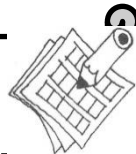
『教育活動とは、子どもが人間らしく生きるための励ましとやらなければならない。そのためには、学校がその地域の保護者・地域社会の人々の協力を得て、子ども一人ひとりが成長発達を遂げるための教育課程を編成しなされなければならない。』

憲法は、教育内容への

国の関与のできる限りの抑制を求め、学校・教員の自主性を保障しています。

『それでは、今回の改訂学習指導要領で、

改訂学習指導要領の核心



くずさんの夕張歴史散歩(69)

大正10年のたたかい ⑨
急電「形勢一転、会社の不逞の態度は遂に事態を悪化せり」
現地から、このような急迫する電報を受けた連合会本部は、急遽麻生理事を夕張に向かわせます。2月13日正午ころ、途中紅葉山駅(現新夕張駅)に着いた麻生は、約三百名の群衆の熱烈な出迎を受け状況を聴きます。

熱気に溢れる演説会

各ヤマでは「悲痛なる報告演説会」(北海タイムス)が開かれます。麻生を迎えた夕張町の「登座」*の演説会は、立錐の余地のなく詰めかける鉱夫たち熱気に溢れ、会場に入りきれなかつた約百名も、二月の寒さにも立ち去らず氣勢を挙げたと伝えられます。

斜坑支部の代表をはじめ各代表が「たて労働者諸君!」「横暴な資本家の賃金値下げ」などと題し熱弁をふるい、最後に麻生本部理事が本社との交渉の成り行きを報告し、会社の無責任を痛烈に批判しました。

全国注目の的

もはやたたかいは夕張一炭山にとどまらず、全国注視の的になりました。日本海員組合・鉄工組合・友愛会本部からと檄電がつぎきます。茨城鉱山労働組合からは「事の進行によりては二・三〇人応援に行く」との檄電。

* 本町三丁目の旧日活館、後のアマポーラ

訂正 昨年5月29日付きの文章「暗い大正のはじまり」に米騒動が、新潟県魚津漁港からとありますが、富山県津漁港からの誤り



畠山和也「国会かけある記」
衆議院議員

しゃもじは角を使うんだよ

畠山 和也

「共謀罪」法案の危険性が、さらに明らかになってきました。質疑のなかで、一般人が捜査対象になる可能性も「なくはない」と法務副大臣が答弁しました。そもそも「一般人」とは誰を指すのか不明ですし、監視社会を当然視する告白のようなものです。断固廃案に追い込みたい。

それにしても安倍政権は、どのような日本社会をめざすつもりなのか。「森友」疑惑が噴出すなかで、教育勅語まで「憲法に反しない」ような活用を認める答弁まで出されました。憲法に反するから、戦後の国会で教育勅語は排除・失効の決議があげられたのに!

ある看護師さんから「学校に行けず読み書きもできないけど、教育勅語は言える」という高齢の患者さんがいたとの話を聞きました。学校に通っていた兄弟が家でも暗唱するのを聞いていて、自然と覚えてしまったとのこと。

思い出しました。私の両親が食堂を営んでいたとき、仕出し弁当にご飯を詰めるのが私の仕事でした。しゃもじで押し付けるようにペタペタとご飯を盛る私に、父から「しゃもじは角(かど)を使うんだよ」と教えられました。上手にできた覚えはありませんが、その一言だけはなぜか忘れず、今は私が子どもに「しゃもじは角を使うんだよ」と教えています。

子どもどきに覚えて、ずっと身に着くことがある。だから為政者の都合の良いように、教育をゆがめさせてはならない。まして戦争に続く道など断固拒否。しゃもじが私に、そう語っています。